

2023年度 第1回 高大連携フォーラム 開催報告

「生成 AI 時代の教育を考える」をテーマに以下のとおり開催した。

日 時：2023年10月30日（月）18：00～19：30

会 場：オンライン（ZOOM）

申込者数：131名

参加者数：59名

会員大学	14 大学 30 名
会員大学外	12 大学 14 名
高等学校	7 校 7 名
自治体関係者	3 名
民間企業	2 名
不明	3 名
合計	59 名

プログラム：

18:00	開会挨拶 原田 宗彦氏（大阪体育大学 学長 / 高大連携部会 部会長）
18:05	講演 金丸 敏幸氏（京都大学 国際高等教育院 准教授）
19:25	質疑応答
19:55	閉会挨拶

<司会進行>秋田 成司氏（大阪公立大学 副学長 / 高大連携部会推進委員会 委員長）

アンケート：別紙のとおり

演 題：生成 AI の登場はこれからの教育をどう変える？～英語教育での活用を例に考える～

概 要：ChatGPT の原理や特性について説明があり、教育現場で起こりうる問題点が提示された。英語教育における ChatGPT の活用例を用いて、ChatGPT の実力や弱み、AI 剽窃の防止策が紹介された。AI 時代は、基礎と型が重要で、教師は知識を教授するのではなく、AI と協働した取り組みを進めながら、ストラテジー指導することが求められるとのお話があった。

主な質疑応答：

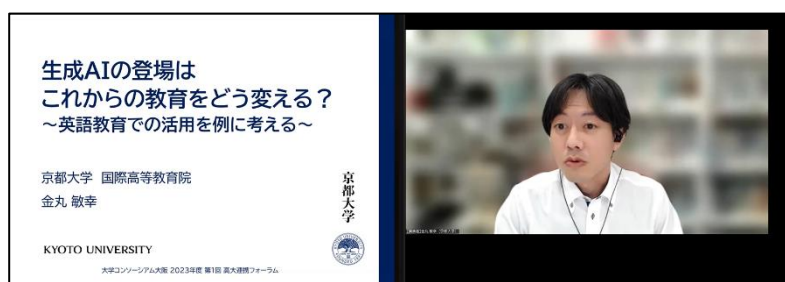
Q1: ChatGPT と人間の成果物の違いを見極めるのは困難だとお話あったが、設問の工夫次第で可能にならないか。

A1: 生成 AI は高い言語レベルを有しているため、その設問の意図さえ理解し、相応しい回答を行うので、ほぼ不可能である。

Q2: プロンプトで指定しても、「独創性のある文章」を ChatGPT が作成することは難しいという理解であっているか？

A2: 生成 AI の temperature（生成 AI がテキストを出力する際に、ランダム性を制御するために用いられる機能）によるところが大きく、確率の高い出力であれば一般的に、低い出力であれば、独創性のある回答が得られる。しかし、いずれもその回答内容の正確性は担保されていない。

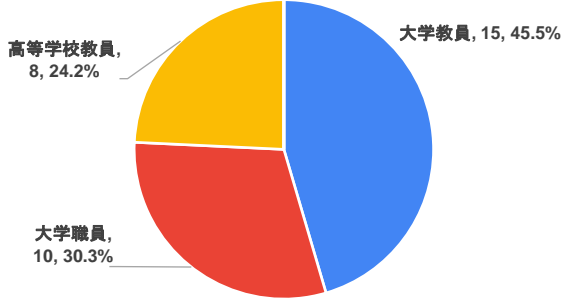
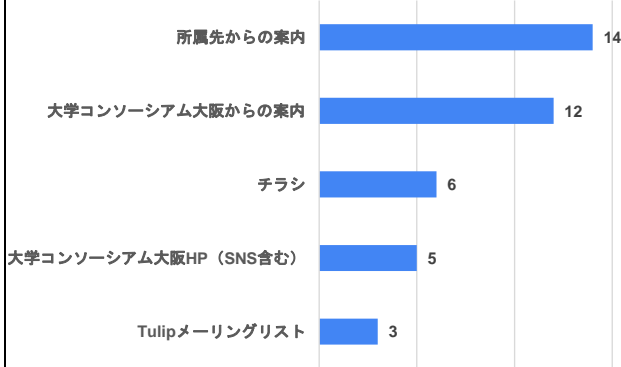
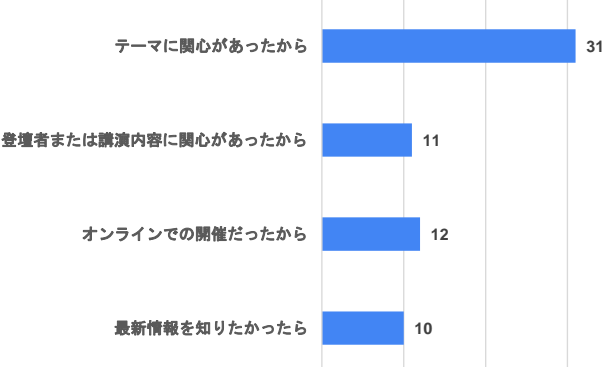
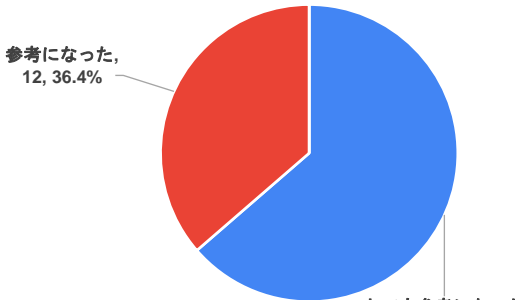
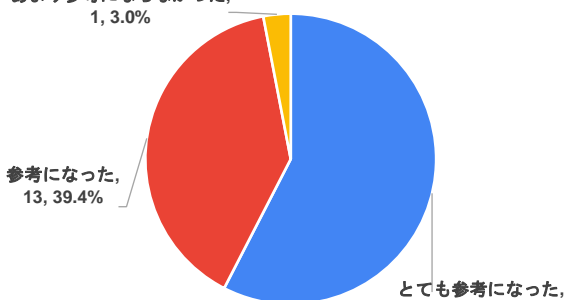
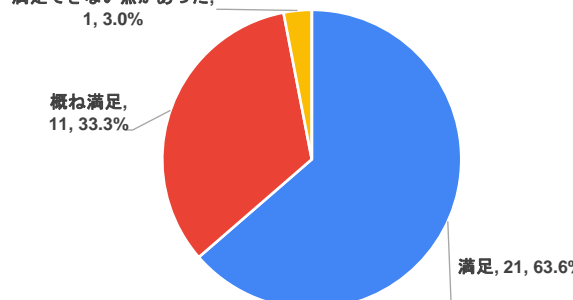
以上



フォーラムの様子

◆2023年度 第1回 高大連携フォーラム 参加者アンケート結果◆

参加者59名 回答件数33件 回答率55.9%

1. 回答者について	2. 本フォーラムを知ったきっかけ（複数回答可）
 <p>大学教員, 15, 45.5%</p> <p>大学職員, 10, 30.3%</p> <p>高等学校教員, 8, 24.2%</p>	 <p>所属先からの案内 14</p> <p>大学コンソーシアム大阪からの案内 12</p> <p>テラシ 6</p> <p>大学コンソーシアム大阪HP (SNS含む) 5</p> <p>Tulipメールリングリスト 3</p>
3. 本フォーラムに参加しようと思った理由（複数回答可）	4. 講演について
 <p>テーマに関心があったから 31</p> <p>登壇者または講演内容に関心があったから 11</p> <p>オンラインでの開催だったから 12</p> <p>最新情報を知りたかったら 10</p>	 <p>とても参考になった, 21, 63.6%</p> <p>参考になった, 12, 36.4%</p>
5. 本フォーラム全体について	6. 本フォーラムの満足度について
 <p>とても参考になった, 19, 57.6%</p> <p>参考になった, 13, 39.4%</p> <p>あまり参考にならなかった, 1, 3.0%</p>	 <p>満足, 21, 63.6%</p> <p>概ね満足, 11, 33.3%</p> <p>満足できない点があった, 1, 3.0%</p>

<p>7. 6.にて回答した理由</p> <p><満足とした理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変分かりやすいご説明で、質問にも丁寧に回答いただけた。 ・生成AIの仕組み、利用方法、課題などが分かりやすく理解できた。 ・関心のあるテーマについて理解が深まった。 ・ChatGPTに、どんな内容のやり取りがなされたのかを見られる機能があり、その機能を用いて、自分を守ることができる可能性について知れた。 ・興味のあるトピックについて充実した内容の講演をしていただいた。 ・金丸先生のお話に具体例があり、よく理解できました。 ・生成AIについて、一般的な説明、問題点を教示いただいた。 ・生成AIについて、理解が深められたから。 ・基本的な部分から丁寧に説明していただいて分かりやすかった。 ・現状を詳しく知ることができたため。 <p><概ね満足とした理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既知っている情報との重複が部分的にあったため。 ・ChatGPTについてどういうものか、少し理解を深めることができた。 ・これまでの自分の知識と併せてより理解を深めることができたし、授業の場面での活用についてご提案いただいた。 ・新しい分野で未知のことが多いことが分かったから。 ・現在のところ、担当業務には直結しないテーマだったが、新しい情報として知識を得られたため。 ・期待どおりでした。
<p>8. 講演に関する意見や感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ生成AIについて学ぶ必要があると思いました。 ・基礎知識がまだ足りていないため、大変参考になりました。 ・最近疑問であったことに関して痒いところに手が届いた感じでした。 ・とても参考になりました。 ・生成AIを活用するためにも、基礎学力が大切ということを知り、今までどおり基礎学力の向上は図りながら、活用方法の最新動向も得るようにしていくべきだと感じました。 ・興味のあるテーマについて、期待していた以上の内容でした。 ・AAALとZPDについてもう少し話を聞きたかった。 ・今後の教育、環境を考える上で非常に参考になった。 ・生成AI活用例は具体的で分かりやすく勉強になりました。他にも教育現場での活用例があれば学習してみたいです。 ・基本的な部分から丁寧に説明していただいて分かりやすかった。 ・高等学校における有用な活用例などをもっと具体的にお話が聞けたらよかったです。生成AIの現状はなんとなく分かりました。今後も勉強していきます。 ・示唆に富んだ内容でした。 ・生成AIの概略的説明を短くして、もう少し具体的な活用例やそれを踏まえ示唆されることなどに長く時間を使っていただけるとなお良かったです。
<p>9. フォーラム全体に関する意見や感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17時開始18時終了など、もう少し早い時間で開催してほしい。 ・平日18:00～と参加しやすい時間帯でした。 ・平日開催ではありましたが、私には開催時間が参加しやすい時間帯であり、良い機会をいただき感謝しております。 ・基本的な部分から丁寧に説明していただいて分かりやすかった。
<p>10. 次回のフォーラムで取り上げてほしいテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ChatGPTの教育現場における活用について ・関西地区で上手く高大連携ができている実例等、具体例を取り上げた講演。 ・生成AIつながりでファクトチェックを、どう習得させるかが、大きな課題です。 ・英語教育以外でも結構ですので、教育、研究活動における具体的な生成AI活用法などをご教授いただけましたら、ぜひ参加させていただきたいです。 ・主体的、対話的な学び。身体性など。